

# 青下の杜プロジェクト

## 官民連携で水源保全へ協定

仙台市 水道局 前澤工業、前澤化成、前澤給装と



協定書を手にする(左から)中島執行役員、芳賀管理者、壺井支店長、清水支店長

仙台市水道局は、民間企業と連携して同市水道水源の1つである「青下水源」の水源地「青下水源」の水源涵養林の保全育成などを行う「青下の杜プロジェクト」を令和2年度から実施しており、10月28日には前澤工業、前澤化成工業、前澤給装工業と協定を締結した。活動エリアの名称は「みずのわの杜」で、局と3社は連携して水源涵養林保全育成や森林保全作業体験、水源保全に関する周知・啓発活動を実施していく。局本庁舎で開催した協

定締結式には、芳賀洋一・仙台市水道事業管理者、清水竜一・前澤工業東北支店長、壺井達司・前澤化成工業北日本支店長、中島隆・前澤給装工業執行役員東日本担当が出席した。芳賀管理者は「この取り組みの輪が一層大きくなるということに改めて感謝申し上げる。コロナ禍ということもあり、当初思っていた活動に少し制約が出ているが、『杜の都・仙台』の豊かな自然をしっかりと後世も市民に引き継いでいくため

に、この活動を積極的に進めていきたい」と話した。

また、清水支店長は「経営理念である『水とともに躍進し、人間らしさを求め、社会に貢献できる魅力ある企業』と合致する素晴らしいプロジェクトであり、参加できることを大変喜んでいて、壺井支店長は「以前より環境問題に取り組んできたが、これまで『水』そのものの環境問題に取り組むことができなかったため、今回青下の杜プロジェクトに参加させてもらえることを喜ばしく感じている」、中島執行役員は「全てのライフラインの礎であるといっても過言ではない、水に関わる企業としてプロジェクトに参加させてもらうことを、前澤グループの一員として非常に誇らしく思っている」と語った。

定に基づき、局が3社からの寄付金を活用し、青下ダム周辺と青下ダム上流部の市有水源涵養林の保全育成などを行う。また、局と3社が連携しながら、水道記念館に隣接する活動エリアで森林保全作業体験を行う。さらに、局と3社が連携して水道記念館などで青下の杜プロジェクトの取り組みを紹介するなど、市民らに水源保全に関する周知・啓発活動も行う。同局は、前澤給装工業とは令和2年1月に協定を締結しており、今年6月に活動エリアでイロハモミジなど樹木約30本の植樹を行っている。同社の関係企業である前澤工業と前澤化成工業もプロジェクトに参加したい旨の申し出があったことから、協定を締結することとなった。